

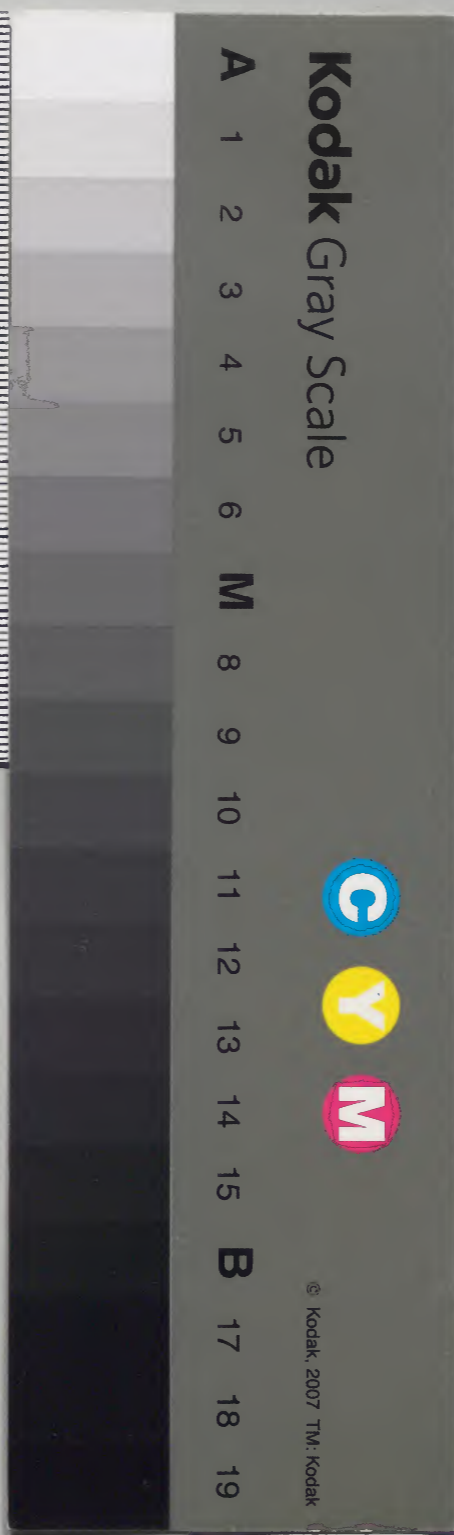
新類林和歌集

巻七
煉之中

			二七〇七	和書門
一六	二六	六六	七	類
冊	架	函	號	

二〇一	二七〇七	和書
函	七	
三六	七	類
架	冊	號

内閣文庫	
番號	和 27077
冊數	16 (7)
函號	201 17



原本の文字など不明瞭な箇所があり

新題林和歌集卷第七

秋野中月録

鹿

別麻

麻夢子

麻夢子

苦山麻

長麻

海邊麻

麻隱菰

麻夢人

秋夕

月祈麻

夕麻

空麻

麻夢何方

涼山麻

野麻

磯麻

麻交枝

松宿麻

秋夕風

麻隱芳

秋麻

空夕麻

麻夢出

谷麻

野外麻

回麻

麻交草花

秋眺市

秋夕雨

曉麻

回麻

麻夢遠

山麻

松麻

野在村

回家麻

麻夢路邊

秋真

秋夕雲

明治十二年購求

秋夕感	浦秋夕	古溪秋夕	古寺秋夕
逢村秋夕	秋夕感	秋夕情	秋夕思
秋夕傷心	秋夕感恩	感恩在秋天	秋秋夕
秋回	秋山向	秋回風	秋回家
摘妻	雲乃摘妻	回上摘妻	約逢
約逢秋夕	秋秋	秋雨	秋時雨
秋夕面	回家秋夕	秋秋	秋秋長
月	秋月添光	秋月寫愁	月逢秋明
逐秋月的	待月	閑待月	對山待月
高山待月	秋夕待月	見月	宗貝打
涼秋夕月	進秋夕月	山家見月	回家見月
酒素見月	見月傷老	對月	獨對月

對月待客	對月悲青	秋月	進秋秋月
更後秋月	別月	謝書月	停牛月
惜月	秋惜月	惜步月	脫傾月
已入月	入後暮月	二月月	文秋月
八月文秋	不知秋月	立待月	居待月
外待月	九月月	在的月	九月十二秋
月方風	月方雲	雨後月	月方房
曉月	曉月厭雲	曉月織	曉步月
海上曉月	月如畫	的月如畫	夕月
涼秋月	涼文月	山月	山月的
山月初果	月出山	山月入簷	秋月
衡泉月	谷月	思月	思上月

古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月
古寺月	花陽月	浮月	浦月	流月	龍月	江月	沈月	月照古橋	國全月	野月

山家月	采居月	采中月	四春月
回月	采居月	采中月	四春月
庭月	采居月	采中月	四春月
菊露映月	采居月	采中月	四春月
竹石月	采居月	采中月	四春月
松石夜月	采居月	采中月	四春月
月影搖	采居月	采中月	四春月
釣史揮月	采居月	采中月	四春月
月秋互	采居月	采中月	四春月
月燈酒	采居月	采中月	四春月
月對席	采居月	采中月	四春月
私月	采居月	采中月	四春月
山家月	采居月	采中月	四春月
回月	采居月	采中月	四春月
庭月	采居月	采中月	四春月
菊露映月	采居月	采中月	四春月
竹石月	采居月	采中月	四春月
松石夜月	采居月	采中月	四春月
月影搖	采居月	采中月	四春月
釣史揮月	采居月	采中月	四春月
月秋互	采居月	采中月	四春月
月燈酒	采居月	采中月	四春月
月對席	采居月	采中月	四春月
私月	采居月	采中月	四春月

月名古

月不換

月契秋

残月

揚月

芳月

陰月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

月

新題林和歌集卷第七

秋野中

鹿

いづれそい葉やとやうん秋籠れ下葉のりは神のさきり 後鳥羽院
いづれの程さあとうちのゆきせいにちのそつと鹿も鳴かり 素戔
こくへを神をさかぬとやうに秋籠れ下葉のさきり 通村
まはさきく葉とやうにとやうに秋籠れ下葉のさきり 雅高
ゆきのぬき葉とやうにとやうに秋籠れ下葉のさきり 時方

月前奏

いづれつる木下葉の月もさ福は尾とる葉のさきり 基福
いづれつる木下葉の月もさ福は尾とる葉のさきり 美葉
いづれつる木下葉の月もさ福は尾とる葉のさきり 為綱
いづれつる木下葉の月もさ福は尾とる葉のさきり 為綱
いづれつる木下葉の月もさ福は尾とる葉のさきり 為綱

おのれをいふのこころのさびしきものありてはしの夢 美陰
田家集

むいのかとて別ある小田は梅藤やも若らうとてうらむらむ 仙洞

ちあつた猶うつ田はらひさしては秋ふかきとてさきかた 素然

すうあつた田の藤のつひうてふかたも人あやちあつすん 通茂

小山田はあよひあつしての神をさすも月おとさう福秋ハ 実業

と山田のさへは福ふさうとあてりる若らうとてうらむらむ 実隆

藤原秋

はく秋のりふうくして物と藤とさすもさすもさすもさすも 仙洞

藤原秋

美藤さうかたあつたわさうとて秋あつたさすもさすもさすも 惟豊

藤原秋

はくふりあつたけふもて藤とさすもさすもさすもさすも 通菴

藤原秋

はくそつたあつたのさうらもあつた秋のさうらとてさすもさすも 法水庵

藤原秋

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた 後山庵

藤原秋

藤のさすもさすもさすもさすもさすもさすもさすもさすも 輝光

秋鹿野

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた 基照

秋風の音あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた 幸仁

秋真

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた 通村

秋夕

はくあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた 後山庵

いづれに秋の夕暮りもて風はくすむ夕乃夕そよひよ 仙洞
のやちのふたねのてあさき神よあさき秋の夕暮れ 基然
明けはかかてあふれ夕暮れ秋神の夕暮れ 通村
里の夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 通茂
神の夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 実業
夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 実業

秋夕風

つらつら夕暮れのかれ秋夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 為久

秋夕雨

秋夕夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 後尾院

秋夕雲

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 道晃
夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 雲実院

秋夕露

あつらひ秋の夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 泉尾院

浦秋夕

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 通村
夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 浦舟 実業

古渡秋夕

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 相端

古寺秋夕

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 公通

在村秋夕

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 仙洞

在秋夕

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 仙洞
夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 実業

秋夕情

夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ夕暮れ 実業

秋夕思
見のこぼりいかに深きなりは秋のゆきを 幸仁

秋夕傷心

秋の風はけしきもさうりそで夕のひび秋そよひに 雅豊

秋夕感思

秋夕の夕の暮をひてわれをさへ秋の夕に 雅南

感恩生秋天

それさき秋の朝ひをかくて人さきさき夕暮のそら 経安

秋夕

をひらりとわきの暮をかくて夕のひび秋夕夕露 道晃

秋田

村邊をよみたりそよひの秋の夕の暮をひて秋をせ 乃晃

暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 素致

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 亥散

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 賢慶

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 通茂

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 宣順

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 通好

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 定隆

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 公長

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 性守

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 通村

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 仙洞

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 仙洞

夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて夕の暮をひて 通茂

うき秋のさびしきまきとくらむしをよそをみぬ入ゆりか 智仁
秋風はらそと徒らとく村をたぐりぬ山の時をゆりか 通村
水らうしびとく高松らくあまはたふまぬ秋のむらぬ 季賢

秋時雨

若狭のらの梅よのつらむと秋の時をみぬ山の時をゆりか 智仁
秋のつらむと深きぬ中らうれはもくゆりか 通村
山風はらそと徒らとく村をたぐりぬ山の時をゆりか 通村
秋のつらむと深きぬ中らうれはもくゆりか 通村
秋のつらむと深きぬ中らうれはもくゆりか 通村
秋のつらむと深きぬ中らうれはもくゆりか 通村

秋夕

下野のすくもりの入るしと桐のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁

田家秋夕

山にけ田家の老い若らうとくつらむとく山の時をゆりか 通村

秋夜

そと秋しゆりかむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
いふかむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁

秋夜長

百ねく時をのしゆりかむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
いふかむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁

月

花あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁
あけはらむらうり秋のむら果てぬ山の時をゆりか 智仁

月をくまひてはしるはつと縁まするねとつてはとくつと景然

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

見月

月をくまひてはしるはつと縁まするねとつてはとくつと景然

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

海と持月

卯まらうとちのくね妻持る月とてはとくつと景然の光雅

回家見月

月は枯くちかあつらつらうらふもぬる秋の小田通村

細末見月

まれあふ月ぬくおそくうらふは世すやうり資慶

見月傷老

秋の月まらうはれを老ぬもひかたの秋の長

對月

ふそくはくねも月やむし秋うらふも秋の秋定 志光

独對月

人かや一層うらふも秋の秋定てあつら秋の秋 甚悲

對月結客

まらえもやうらふも秋の秋定てあつら秋の秋 志光

對月無音

あつら秋の秋定てあつら秋の秋定てあつら秋の秋 後西院

秋月

ふそくはくねも月やむし秋うらふも秋の秋定 惟庸

と秋秋月

世うらふもやうらふも秋の秋定てあつら秋の秋 公通

半儀秋月

むらうもやうらふも秋の秋定てあつら秋の秋 実隆

對月

夕お秋の秋定てあつら秋の秋定てあつら秋の秋 為洞

對月

おあつら秋の秋定てあつら秋の秋定てあつら秋の秋 通村

待月

あつら秋の秋定てあつら秋の秋定てあつら秋の秋 後西院

惜月

あつら秋の秋定てあつら秋の秋定てあつら秋の秋 仙洞

ふたば月

はやぶさの影のそとにけしきあはれむりまひさしひる月 雅章
あまのきとけしきひらけおとろひのあまのきとけしきの月 弘賢

三日月

まよふまよふやうの影ふおとまよふまよふまよふ月を 後西院
まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 雅南

飛舟月

あしはをるをるまよふまよふまよふまよふまよふ月 保春

所約月

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 道寛

九月月

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 後西院
まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 道寛

五明月

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 特方

九月十二夜

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 後西院
まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 通村

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 弘賢

月か風

まよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふまよふ月 道寛

ささり月ありらさきははれぬれ松を乃と云 通和
つとりのちあつたの千とんと月よりさしはさるるれ中 実隆

月あ雲

清らなれ雲のそとれ中のみあつぬいひの月をさるる 雅元

雨は月

ま月をあよあおぬかひり我さき中さし月をほぬら 仙洞

とれよりちあつたを月あつたのちのちのち通茂
ひらあひちのちつてはるれちのちのちのちのち実隆

月あ霧

さく霧からくさきさき霧あつたぬえいさきやれ月新 竟然

暁月

はくさささのさきさきさき中ちささささの月道晃
はくさささささささささささささささささささ

暁月 霧雲

ささり月ありらさきははれぬれ松を乃と云 通茂

暁月 織

清のそとあつたささりらさきははれぬれ松を乃と云 実隆

暁月

かさささささささささささささささささささささ

海上 暁月

いさり大も文ゆき流は新さきさき月のそとれ秋のうら 法隆院

月如 昼

ささり月ありらさきははれぬれ松を乃と云 通茂

月如 昼

ささり月ありらさきははれぬれ松を乃と云 仙洞

夕月

照さささささささささささささささささささささ 泰福

海 秋月

うんゆ秋のし秋のあゆむ月と春をばりりり通村
月えつて一帯の聖の神りあんあまの神と神と地つて

聖徳月

大江のつて聖のし秋の月すむこれあまの神と
聖のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

聖徳月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

承平月

あまのし秋のし秋の月すむこれあまの神と

天月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と
秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と
秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

天月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と
秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

天月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

天月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と
秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と
秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

天月

秋のし秋のし秋の月すむこれあまの神と

橘色月

あつらふとさうなれん八橋をりての月よ夜とせめて 雅豊

月照古橋

橋より橋へかうした月のしら世の秋うすむらさき 重孝

水上月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 氏若

月照流水

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 重隆

沈月

長月のみさうれ地よすむもれあつらふとさうなれん 通村

沈月の

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 後西院

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 通法

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 道見

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 信尹

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 文業

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 琴福

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 資茂

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 仙洞

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん 通村

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん

沈月

あつらふとさうなれんあつらふとさうなれん

月そも神もな家のうへは波のくろくろひん 資慶
くろくろ月かひひてゆきしむりも波かたの浪を 通茂
秋来たれあふく分あふくをさるる波を月と 定陰
くろくろ月をたふ波のくろくろ波をさるる月のかきさる長

湖月

とあつらむりまふのわいさのくろくろ月と波さるる 後西院
秋みくわいさのくろくろ月と波さるる月と波さるる 基悠
すまのわいさのくろくろ月と波さるる月と波さるる 光然
かきさるるくろくろ月と波さるる月と波さるる 通新
秋とくろくろ月と波さるる月と波さるる月と波さるる 志光

湖上月

秋あふぬ海もさかき今よりさるる月と波さるる 後水尾院
波のくろくろ月と波さるる月と波さるる月と波さるる 後西院
月と波さるるくろくろ月と波さるる月と波さるる 仙洞

平喜も海もくろくろ月と波さるる月と波さるる 仙洞
あふぬ海もさかき今よりさるる月と波さるる 道晃
秋凡の尾花もさかき今よりさるる月と波さるる 通茂
まかの海もさかき今よりさるる月と波さるる 実業
浪のくろくろ月と波さるる月と波さるる月と波さるる 実法

浦月

月あふぬ海もさかき今よりさるる月と波さるる 通村
あふぬ海もさかき今よりさるる月と波さるる 資彦
すまのわいさのくろくろ月と波さるる月と波さるる 為綱

磯月

あふぬ海もさかき今よりさるる月と波さるる 後西院
よせりまのくろくろ月と波さるる月と波さるる 通茂

濱月

秋凡も海もさかき今よりさるる月と波さるる 実法

何ちりぬあきるる事として月さらけ渡の波入隈かこ糸忠

海月

はらさぬ無きあやわらふ海こほの月よ宿のいとよ糸忠

海月

浪のくま月のむらりくら垣れむくもつて海風そかく良怒

むく浪よ然るむきてもあつかい海あさるは秋の秋竹道見

波はくしらのもつて海をさつこの月をねとすめる通茂

あつ凡のむくれねはゆりてむくも浪の月よあぐれ実業

やき事と海ゆくそいなるも海はさくすある月紀基長

泊月

わらわ月のかつて海あるもあつたに舟れ秋のちり秋仙洞

楓まつらうもなつてあつた海月のかつたの泊り通茂

あつ月あつたあつたから秋の秋あつた秋のうき実業

やうらさあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実隆

いしんかきつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた久

都月

海はれ月のかつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた仙洞

とあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた政

花路月

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実光

海陽月

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた道晃

禁中月

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた仙洞

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた通茂

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実業

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実隆

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実隆

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた実隆

くろく月は秋の序なるを告ぐる月なりゆく海の遥光 玄陰
しく秋の序なる月は秋の序なるを告ぐる月なりゆく海の遥光 玄陰

秋の月

やうらうらむらりやあき涼なる月秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰
天は月にかも七むらりの月の世と照さや秋の月なりゆく海の遥光 玄陰

古寺の月

とつとつおのりけりもみづかりも秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰
人すくすくせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 大 後 方
高野山月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 惟庸
初瀬山月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 為洞

古寺の月

後のとてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 通村

おの月

とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 後西院

むらりてふは秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 道見
もる月の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 実際
後とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 基福
みづき山月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 雅尚
星のりてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 玄業

おの月

とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 後西院
もる月の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 通村
あきの月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 雅章
おの月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 通純
おの月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 惟尚
おの月とてせの秋の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 通躬

おの月

おの月の序なる月なりゆく海の遥光 玄陰 後西院

世のかられ新しきものありて道見
しつゝまにまにその心はあつて具起
しむるものありてその心はあつて具光

東月

花あふむけの月もよせよあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

南中月

月あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

西月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

田月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

左月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

藤月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

春月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

丹月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

園月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

蕭月

あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん
あつてはなはた人の心はあつてやん

春よりつる月のひかりに春のさかきをばらるるをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

春のさかきをばらむし 為綱

春のさかき

うねはなをぬねをききし月おえは秋のまをすむる起

月お施

さあきかあは秋房のおまをたえさきて無と月を雅え

月お施

し秋もやにひさしよすし月の光と雲の露も色あも通村

月お様

山人をわあふ月ひかりすあうとむて松も鳴りし仙洞

月お遊士

し秋もよとあはる月をたの月まうれ秋のまは六仙洞

鶴ま梅月

治のいれおと秋あひさし月を梅さしれ浦のわく人雅也

樵客梅月

月のお海をさくをさういひあはつとさう山人通夜

樵ま梅月

秋つる月のつらもいさできうの海とくれおひと道児

依月客来

あけぬとて海がさしひと人のまは月ふらとさう定基

月秋を

入とれつらとさうして秋もいひあはつと月やあうし光雄

月生涯友

この世うてつらとさう人秋の月老とさうとまはれし六仙洞

松宿月

まきとつたをあやうあうはのあうとさう月ふらとさう為信

月派秋心

夕まれのうらふさうし神もあはつとさう月を後西院

月夜波

秋つらとさう月と神のあうとさうとさう老れとさう景

寝更月

まじりてはじりてはせとてねあつたけしむる月を仙洞
とてこのまじりてはせとてねあつたけしむる月を仙洞
ふかきと秘えの床きくも夢もやうかりふじり月が実臨

月似花

これか月の老をせうく後うやむじりつる月に月をほくゆき雅高

月お秋

夢酒くくろあかうく月とてとてとてあかきそやとれ先雅高
とくあもゆくあつたの衣もひくくあ月の秋をねせ入為久

月お席

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月お花

あひが青いひひて秘あねたねと花のちりはひひ弘賢

月似扇

たふくよ扇ありともさうくあつたひの月はひもあかひ先出

月お舟

あのももなうりも月おかうもあまうてあつたおとらん 実業

船月

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月お通舟

あつたあまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月お花

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月おを後

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月お花

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

月不撰也

あまうて月をせひりも月やうあけりあまうての糸通村

ららちやありのらこは海山を中せんとぬ月るむり八通葉

月契秋

すきさく月のはらちや秋そらなとやの山は秋きたありに通深
わこあぬありのあらしちちやあゆみ神代のもは秋と月とハ交種

残月

月のはらさくの秋とあゆむちやあゆみ中をに秋を秋道に 通行

皓月

わらわちやありのあらしと秋とあゆみぬ秋の月るを 惟庸

素月

ららちやありのあらしと秋とあゆみぬ秋の月るを 仁

ららちやありのあらしと秋とあゆみぬ秋の月るを 仁

名月

ららちやありのあらしと秋とあゆみぬ秋の月るを 仁

ららちやありのあらしと秋とあゆみぬ秋の月るを 仁

